

地域づくりを支援する 生活支援コーディネーター [地域支え合い推進員]

本市では、高齢になっても住み慣れた地域で健康に暮らすことができるよう「生活支援コーディネーター」を8人配置しています。生活支援コーディネーターは、地域のさまざまな情報や、支えてくれる人や組織などを集めて組み合わせる調整役を担っています。高齢者を地域全体で協力して支える体制を作るため「地域支え合い推進員」という別名があります。

具体的には、地域に役立つ情報を発掘して周知したり、地域の課題を解決するために地域のみなさんと一緒に考えたりします。さらに、高齢者の社会参加の支援・生きがいつくり・地域を支える担い手の育成など、役割はさまざま。みなさんが住んでいる地域の課題や地域活動など、困っていることがあったら気軽に相談してください。

話し合いの場を作る

地域にどのような課題があるのか、解決するためには何が必要なのかなど、地域のことを話し合うことができる場を作ります。また、地域で助け合い・支え合いができる仕組みを考えます。

通いの場を作る

運動やおしゃべり、趣味の活動などを通して、介護予防に取り組んだり、人と人の絆きずなを深めたりできる場所として「通いの場」を作ります。

見守り・声掛け

日々の暮らしの中で、緩やかに見守り・声掛けをすることで信頼関係が生まれ、困りごとつなに気付くことができます。地域の繋がりを支援します。

困りごとを解決する

ゴミ出し、電球の交換など、ちょっとした困りごとを隣近所で解決できれば、住み慣れた地域で暮らし続けやすくなります。地域のみなさんと一緒に解決方法を考えます。

このまちで



いつまでも

市民のみなさんへ



生活支援コーディネーター
ひらはた なるみ
平畑 尚史 さん

コロナ禍により、誰もが不安を感じながら生活している状況です。「コロナに負けない」ではなく「コロナとうまく付き合っていく」という思いをもって、これからのことを地域のみなさんと一緒に考えていきたいと願っています。これまでの生活を取り戻すには、長い時間がかかるでしょう。しかし、コロナ禍という危機を「地域の新しい繋がり方」を考えるための機会としてとらえ、市地域包括支援センターの生活支援コーディネーター一同、地域のみなさんと一緒に粘り強く頑張ります。